

グローサーNZ貿易大臣メディア声明（仮訳）

「TPP参加国は日本を環太平洋パートナーシップ交渉の新たな参加国として
歓迎」

2013年4月21日

ティム・グローサー貿易大臣は、環太平洋パートナーシップの11か国を代表して以下の声明を発出することを喜ばしく思う。

「オーストラリア、ブルネイ、カナダ、チリ、マレーシア、メキシコ、ニュージーランド、ペルー、シンガポール、米国及びベトナムは、本日、日本を、環太平洋パートナーシップ（TPP）協定の締結交渉の新たな参加国として歓迎した。」

「我々は、日本の交渉参加が、我々の国及びアジア太平洋地域全体において、経済成長と開発に弾みをつけ、革新を促進し、消費者に利益をもたらし、雇用の創出と維持、より高い生活水準と貧困の削減を後押しする21世紀型の協定をつくるという目的に貢献するであろうと信じる。」

「TPP現参加国は、特に、2011年11月12日のホノルルでのTPP首脳及び貿易大臣による声明に従って、包括的かつ高い野心の次世代型の協定という共有された目標をできる限り早期に達成することについての日本の約束を歓迎した。我々は、各国の多様な発展のレベルを考慮しつつ、包括的かつバランスのとれたパッケージの締結を目指すに当たり、日本とともに取り組んでいくことを楽しみにしている。」

「TPP現参加国が今後必要に応じそれぞれの国内の法的手続を完了した後、日本は、正式に交渉参加国となり、交渉に参加する。」

（了）